

第 60 回全九州ろうあ者スポーツ大会 in ふくおか

【ご案内・申込書】

北九州市立戸畑浅生スポーツセンター



北九州市立障害者スポーツセンター「アレアス」

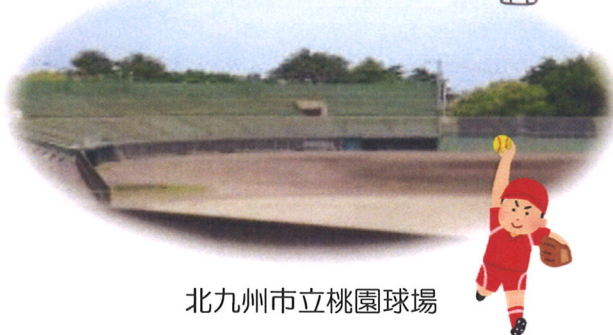


桃園シティボウル



北九州市立ウェルとばた

北九州市立^{きやがたに}鞘ヶ谷競技場



北九州市立桃園球場

開催期日：2023 年 5 月 20 日（土）～21 日（日）

会 場：福岡県北九州市

主 催：九州聴覚障害者団体連合会

主 管：社会福祉法人福岡県聴覚障害者協会

特定非営利活動法人北九州市聴覚障害者協会

第 60 回全九州ろうあ者スポーツ大会 in ふくおか実行委員会

第 60 回全九州ろうあ者スポーツ大会 in ふくおか

— もくじ —

もくじ	1
実行委員長あいさつ	2
大会開催要項	3
第 48 回バレーボール競技	5
第 42 回ソフトボール競技	6
第 42 回ゲートボール競技	8
第 30 回ボウリング競技	10
第 17 回バドミントン競技	11
第 11 回ソフトバレーボール競技	13
第 1 回グラウンド・ゴルフ競技	14
申込みについての協力のお願い	15
ゲートボール競技参加者宿泊についてのご案内	16
競技会場地図	17
申込書等手続き書類	
行事中止に関する基準	

ごあいさつ

2023 年 5 月 20 日（土）～21 日（日）開催される「第 60 回全九州ろうあ者スポーツ大会」は、福岡県北九州市を会場に行われます。

2019 年度、2020 年度大会が新型コロナウイルス感染症拡大により中止となりました。選手のみなさんには、汗を流し練習を重ね励んできた実力を発揮することができず、無念な思いだったことと思います。

現在も感染者は拡大の一途にあります。収束の見通しは立たず、長引く自粛生活に誰もが不安な日々を過ごしている状況だと思えます。

無事に大会が開催できるよう徹底した感染予防対策に努め、更に留意点等について北九州市障害者スポーツ協会及び利用施設関係者の助言を受け、併せて選手及び関係者の皆さまにもご協力をお願いし、安心して競技に集中していただけるよう万全を期してお迎えさせていただきたいと思えます。

各県の選手の皆さんのご来北を心よりお待ちしております。

2023 年 2 月 1 日

第 60 回全九州ろうあ者スポーツ大会実行委員会

実行委員長 大澤 五恵

第60回全九州ろうあ者スポーツ大会 in 福岡 開催要項

1. 目的

九州地域の聴覚障害者等が一堂に会して、スポーツをとおして友愛を深めノーマライゼーション意識の高揚をはかることを目的として行う。

2. 事業名称

第60回全九州ろうあ者スポーツ大会

- ・ 第48回バレーボール競技
- ・ 第42回ソフトボール競技(全国ろうあ者体育大会ソフトボール競技九州地区予選)
- ・ 第42回ゲートボール競技
- ・ 第30回ボウリング競技
- ・ 第17回バドミントン競技
- ・ 第11回ソフトバレーボール競技
- ・ 第1回グラウンド・ゴルフ競技

3. 主催

九州聴覚障害者団体連合会

4. 主管

社会福祉法人福岡県聴覚障害者協会

特定非営利活動法人北九州市聴覚障害者協会

第60回全九州ろうあ者スポーツ大会 in 福岡実行委員会

5. 会期及び会場

会期：2023年（令和5年）5月20日（土）～21日（日）

会場：北九州市内

6. 後援(予定)

福岡県、北九州市、福岡県教育委員会、北九州市教育委員会、社会福祉法人福岡県社会福祉協議会、社会福祉法人北九州市社会福祉協議会、社会福祉法人福岡県共同募金会、公益財団法人福岡県身体障害者福祉協会、一般社団法人福岡県障害者スポーツ協会、北九州市障害者スポーツ協会、公益財団法人福岡県スポーツ協会、公益財団法人北九州市スポーツ協会、北九州市バレーボール協会、北九州市ソフトボール協会、福岡県ゲートボール連合、北九州市ボウリング協会、北九州市バドミントン協会、福岡県グラウンド・ゴルフ協会、朝日新聞社、読売新聞西部本社、毎日新聞社

7. 会期及び会場（予定）

期 日	時 間	行事名称	会 場
20 日 (土)	10:00～12:00	運営委員会	北九州市立ウエルとばた会議室
	13:00～15:30	九聴連常任理事会	〃
	13:00～14:15	体育委員会	〃
	14:30～15:30	監督・主将会議及びトーナメント 抽選会	〃
	16:00～17:00	大会開会式	北九州市立戸畑浅生スポーツセンター
21 日 (日)	9:30～17:00	第 48 回バレーボール競技	北九州市立戸畑浅生スポーツセンター
	9:00～17:00	第 42 回ソフトボール競技	北九州市立桃園球場
	9:30～17:30	第 42 回ゲートボール競技	北九州市立鞆ヶ谷競技場
	9:30～15:00	第 30 回ボウリング競技	桃園シティボウル
	9:30～15:30	第 17 回バドミントン競技	北九州市立戸畑浅生スポーツセンター
	9:30～15:30	第 11 回ソフトバレーボール競技	北九州市立障害者スポーツセンター 「アレアス」
	9:30～15:30	第 1 回グラウンド・ゴルフ競技	北九州市立鞆ヶ谷競技場

8. 参加料

種 類	内 容	金 額	備 考
団体参加料	団体（協会）競技参加料	5,000 円	1 協会につき、福岡県は 10,000 円
個人参加料	バレーボール競技	2,000 円	参加者 1 人につき 別に登録料要
	ソフトボール競技	2,000 円	〃 〃
	ゲートボール競技	2,000 円	〃 〃
	ボウリング競技	6,000 円	〃 〃
	バドミントン競技	2,000 円	〃 〃
	ソフトバレーボール競技	2,000 円	〃 〃
	グラウンド・ゴルフ競技	2,000 円	〃 〃
	弁当料（監督・選手）	800 円	

9. 実行委員会事務局

〒804-0067

北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた 7 階

特定非営利活動法人北九州市聴覚障害者協会内

第 60 回全九州ろうあ者スポーツ大会 in ふくおか実行委員会

TEL 093-647-0870 FAX 093-881-0114

E-mail : kitarou@kad.or.jp

第 48 回バレーボール競技実施要項

1. 競技規則

大会開催年度の公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則による。ネットの高さは成年と同規定とする。

2. 競技種目

男子 6 人制及び女子 6 人制の 2 種目とする。

3. チームの編成

- ① 男女とも、県単位とし、チーム数を制限しない。他県選手をチームに加える場合、及び単独チームを編成できない県同士のチーム編成も可能とする。但し、両県体育部長の許可を要する。
- ② チームの編成は監督 1 名・コーチ 1 名・マネージャー 1 名・選手 12 名の計 15 名以内とする。
- ③ 選手のうち、リベロ・プレーヤーは 2 名まで登録できる。
- ④ 監督・コーチまたはマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿にも登録されていなければ選手として出場できない。

4. 競技方法

- ① 競技は、リンクまたはリーグ及びトーナメント方式の試合形式についてはチーム数に応じて、主催側が決定する。
- ② 全試合 3 セットマッチとする。

5. 使用球

公益財団法人日本バレーボール協会検定 18 枚張り 5 号球カラーボールを使用する。

6. 組み合わせ

組み合わせは、監督・主将会議において抽選により決定する。

7. 表彰式

- ① 表彰式は、決勝戦終了後に行う。
- ② 表彰は、男女とも優勝・準優勝とする。

<注意事項>

- ① 試合開始前・セット間及び終了後の手順はプロトコールの通りとする。
- ② 試合開始は、特に時間の指定のあるものを除き、追い込み方式で行う。なお、同チームの試合が連続する場合は、15 分間の休憩後プロトコールに入る。
- ③ オーダー用紙は、キャンプテンがトスをする時に提出する。
- ④ 公式練習からエントリーされた者だけが競技場に入場できる。
- ⑤ 負傷の原因となるピン・指輪・腕輪・被り物・その他金属装身具等を身につけて競技してはならないが、自分の責任において眼鏡を使用することができる。
- ⑥ 参加選手は事前に健康診断を受けてくること。競技中選手が負傷した場合、応急処置は行うが、それ以後の責任は負わない。
- ⑦ 主将は、ジャージ色と異なった色の幅 2 cm のマークをユニホームの胸部の番号の下に明確につけること。
- ⑧ 監督・コーチ・マネージャーは、マークを左胸部につけること。マークの大きさは、直径 6 cm 程度で各チームが負担すること。

第 42 回ソフトボール競技実施要項

全国ろうあ者体育大会ソフトボール競技九州地区予選

1. 競技種目

男子ソフトボールとする。

2. 競技規則

大会開催年度の公益財団法人日本ソフトボール協会オフィシャル・ルール及び競技実施要項規定並びに大会特別規則により実施する。

3. 参加資格

① 競技実施要項規定によるものとする。

② 県ごとに出場枠を下記のとおりとする。

福岡 1、佐賀 1、長崎 1、大分 1、熊本 1、宮崎 1、鹿児島 1、沖縄 1、計 8 チーム以内になるものとする。但し、各県のチーム有無、数により枠を変更できる。

4. チームの編成

① 1 チームの編成は、20 名以内とする。

監督またはコーチ・マネージャー・スコアラーが選手として出場することはできるが、選手として出場する場合は、20 名の範囲内で登録しなければならない。

② 特別な理由（突発的な事故、疾病等）がある場合に限り、選手の変更並びに背番号の変更は本大会競技実施要項の規定用紙に記入して、指定期日までに提出することによって認められる。ただし、追加の申込みは一切認めない。

③ 大会特別規則として、隣県地区から選手を補強できることとする。この場合、補強選手の人数は 3 名以内とし、申込み締め切り日後の登録・変更については認められないものとする。

5. 試合球

ナガセケンコーゴム・ソフトボール検定 3 号球とし、実行委員会が提供する。

6. 試合方法

① 対戦方法はトーナメント方式とする。

② 試合は、7 イニング制と時間制を併用し、どちらか先に達した時点で試合終了とする。

③ 80 分を超えて新しいイニングに入らないものとする。

④ 7 イニングまで達した場合は、規定時間に達していなくても終了とする。

⑤ 5 回以降 7 点差の場合は、コールドゲームとする。また、7 回終了時同点の場合は抽選により勝敗を定める。

⑥ 決勝戦については 7 回とし、同点の場合は 8 回よりタイブレーカーを適用する。
但し、2 回限りとする。

7. 表彰

① 表彰式は、決勝戦終了後、閉会式にて行う。

② 表彰については、団体表彰は、優勝・準優勝とする。

（イ）個人表彰は、最高殊勲選手賞・最優秀投手賞・打撃賞・敢闘賞とする。

8. 用具等

競技に使用する用具については、公益財団法人日本ソフトボール協会オフィシャル・ルールに定められたものとする。なお、打者及び走者はヘルメットを使用しなければならない。

また、守備中の捕手はヘルメット及びマスク・スロート・ガードマスク・ボディプロテクター・レガースを着用しなければならない。

9. 監督・主将会議

- ① 監督または主将及びチーム関係者等の2名が出席すること。
- ② 会議には定時に出席すること。欠席の場合は棄権とみなす。
- ③ 会議において、大会組み合わせ抽選を行う。
- ④ 組み合わせ抽選会における本抽選のくじ引き順を決定する予備抽選を引く順番は、開会議場での出席受付順により行う。
- ⑤ 会議において説明を受けた事項及び決められた事項等は、必ず選手全員に徹底させること。

10. その他

- ① 試合中ベンチに入ることができる者は、指定された大会係員及び登録された監督・選手20名とチーム代表者1名・スコアラー1名・マネージャー1名とする。
- ② 試合開始予定時刻の30分前までに会場に到着し、会場本部席に到着の報告を行うこと。なお、集合時間に遅れたチームは、原則として棄権とみなす。
試合開始予定時刻よりも早くゲームを行える場合もあるので、十分余裕をもって行動すること。
- ③ ベンチは、組み合わせ番号の若いチームを1塁側とする。
- ④ ゲーム前の公式練習（シートノック・フィールディング）は5分間とする。
ただし、天候・時間の状況などにより中止または短縮する場合がある。
ノッカーも選手と同様のユニホームを着用すること。

<注意事項>

- ① 打順表（オーダー表）提出について
試合開始予定時刻の30分前、または前の試合5回終了までに、打順表（4枚1組複写）に必要事項を記入し、必ずフリガナをつけて球場本部（A球場ネット裏）に提出すること。
- ② 攻守順の決定
打順表提出の時、審判員立会いのもと「コイン」のトスによって決定する。
「コイン」の裏表は先着（打順表持参）チームに優先権を与える。
- ③ 競技者席
組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
ベンチに入る人数は要項で定められた者以内とする。
- ④ フィールドイング
 - （1）競技場に入ることを許されたメンバーで行うこと。
 - （2）後攻チームより5分間とし、審判員の指示に従うこと。
 - （3）大会運営上、時間の短縮及び省略することもある。
- ⑤ 競技用具
 - （1）バット・ヘルメット（JSA）の点検をし、規定以外のもの及び危険と思われる用具は試合終了まで球技本部席で保管する。（試合終了後、受け取りに来ること）
 - （2）同一チームの選手のユニホームは同色・同衣装で統一された品位あるものであること。帽子は同一のものとする。
 - （3）背番号は監督30番、コーチ31番、主将10番、選手は1番から99番までとする。胸番号も同一とし、胸につけなければならない。
 - （4）金属製スパイク使用は認めない。また、危険行為をした場合は退場とする。

第 42 回ゲートボール競技実施要項

1. 競技規則

競技並びに審判は、公益財団法人日本ゲートボール連合公式ゲートボール競技規則並びに競技実施要項による。

審判は、公益財団法人日本ゲートボール連合公認審判員があたる。

2. 出場資格

- ① 各県単位に編成したチームのみとする。
- ② 参加チームについては、各県単位の 6 チームまでとする。
(A・B・C・D・E・F チーム)
- ③ 老若男女を問わず年齢制限はなしとする。

3. チームの編成

- ① 1 チームの編成は、監督 1 名、競技者 5 名以上 8 名以内とする。
- ② 競技者のうち、1 名を主将とする。
- ③ 監督は専任とし、競技者を兼ねることはできない。また、監督はおかなくてもチームは成立する。

4. 競技方法

- ① 予選リーグ戦・決勝トーナメント戦とする。
- ② 競技時間は 30 分以内とする。
- ③ 8 名以内の競技者の内 5 名が競技に参加し、1 試合中に 3 名まで 1 回に限り交代することができる。

5. 組み合わせ

- ① リーグ戦・トーナメント戦の組み合わせは、大会事務局と審判長によって決定される。
- ② リーグ戦の先攻・後攻は、大会事務局と審判長によって決定される。

6. 表彰

- ① 表彰は、競技終了後閉会式において行なう。
- ② 表彰は、優勝・準優勝・3 位とする。

<注意事項>

- ① コートは、インサイドライン縦 15m・横 20m とする。
- ② インサイドライン・アウトサイドライン並びにフリーゾーンの区画はテープを使用する。
- ③ 待機エリアは椅子を設けてその範囲とする。
- ④ スティックは、参加者が持参するものとする。
- ⑤ 主将表示マークは、チームが用意する。
- ⑥ 大会使用球は、実行委員会が用意する。
- ⑦ 打順の番号表示（ゼッケン）は、チームが用意する。
- ⑧ オーダー表交換は、試合開始予定時刻の 10 分前とする。
- ⑨ オーダー表は、試合の都度コートの審判に渡すこと。
- ⑩ リーグ戦の順位決定法は次の順序による。
①勝ち試合数 ②得失点差 ③対戦結果
- ⑪ 競技の没収に対しての得点は与えない。
- ⑫ 競技を没収されたチーム及びリーグ戦を棄権するチームがあった場合、残りチームの対戦結果にて代表チームを決定する。

- ⑬ 雨天決行とする。ただし、荒天により競技方法を変更する場合がある。この場合は、大会競技委員長が決定する。
- ⑭ 主将の指示はスティックを使わず、手で指示すること。
- ⑮ 競技者は、試合の 10 分前にコート傍に集合すること。

第 30 回ボウリング競技実施要項

1. 競技種目

混合団体戦・男子個人戦・女子個人戦を行ない、さらに決勝戦 3 ゲームを行なう。

2. 競技規定

- ① 競技は、大会開催年度の公益財団法人全日本ボウリング協会競技規則（JBC ルール）を採用する。
- ② 競技は、予選及び決勝戦を行ない、予選及び決勝戦ともアメリカン方式で行なう。
- ③ 競技中トラブルが生じたときは、審判の指示に従うこと。
- ④ ゲームスタートのホイッスル時に遅刻した場合は、失格とする。
- ⑤ スタートの合図は緑色、ゲームセットは赤色の旗を用いる。

3. チームの編成

混合団体戦のチーム編成は、1 チーム 3 名とする。編成は、男女混合・男子のみ・女子のみ、いずれも可とする。

4. 競技方法

- ① 団体戦＝3 ゲーム行ない、そのトータルピンにより順位を決める。
- ② 個人戦
 - (1) 前半 3 ゲーム・後半 3 ゲームを行なう。
 - (2) 団体戦 3 ゲームと個人戦前半 3 ゲーム・後半 3 ゲーム計 9 ゲームのトータルピンにより順位、男子 1 2 位以上、女子 4 位以上が決勝戦に進出できるものとする。
 - (3) 団体戦に出場できない選手は、団体戦と並行しながら特別に 3 ゲーム（計 9 ゲーム）を行なう。
- ③ 決勝戦による採点は、決勝戦 3 ゲームで得たトータルピンと予選 9 ゲームで得たトータルピン合計により順位を決める。

5. 表彰

- ① 団体戦は、1. 2. 3 位、個人戦は、1. 2. 3 位を表彰する。
- ② 個人戦の男子優勝者・女子優勝者には、優勝杯・メダルを授与する。
- ③ 個人戦の男子 2. 3 位、女子 2. 3 位には、メダルを授与する。
- ④ 個人戦男女別に HG・HS 賞を授与する。（ただし、予選のみ）
- ※ HG＝1 ゲームの最高得点（混合団体戦 3 ゲームと個人 6 ゲーム）9 ゲームのうちの最高得点
- ※ HS＝混合団体戦 3 ゲーム、個人前半 3 ゲーム、後半 3 ゲームのうち、3 ゲームのトータル最高得点

6. 競技上の注意事項

- ① 競技用ボウルは、できるだけ各自のものを使用すること。
- ② 競技出場選手は必ず、氏名、県名入のユニホームを着用すること。
- ③ 競技開始 30 分前までに受付を完了すること。
- ④ 競技中の選手は、応援者等との会話を禁ずる。
- ⑤ 競技中は、出場選手と役員以外は、ボウラズベンチ内への立ち入りを禁ずる。
- ⑥ 投球メンバー及び順番は、各種目とも登録をもって変更できない。変更した場合は、失格となる。
- ⑦ 円滑な競技運営のため、競技役員の指示に従い、素早く行動するように努める。

第 17 回バドミントン競技実施要項

1. 競技種目

- ① シングルス 男子シングルス 女子シングルス
- ② ダブルス 男子ダブルス 女子ダブルス 混合ダブルス

2. 競技規則

公益財団法人日本バドミントン協会競技規則並びに同大会運営規定による。

3. 出場資格

- ① 出場人数について、加盟団体毎に参加制限をしない。
- ② 同一選手は、2 種目までエントリーできる。
- ③ ダブルスのペアは、加盟団体内で組めない場合、他県選手と組むことが出来る。

4. 競技方法

各種目ともトーナメント方式で行なう。ただし、参加状況により、予選リーグ、決勝トーナメント方式で行なうことがある。競技方法の決定は競技主管で行なう。

5. 使用シャトル

公益財団法人日本バドミントン協会検定合格品とする。

6. 組合せ

参加申込締切り後、実行委員会において競技主管の立会いのもとで、代理抽選により決定する。

7. 競技服装

- ① 服装は公益財団法人日本バドミントン協会審査合格品を着用するものとする。
- ② 選手は着衣の背部にゼッケンをつけるものとする。
- ③ ゼッケンの名前で読みにくいものはふりがなをつける。

名	前
県	名

横 25cm 縦 18 cm ※白地に黒字

8. 表彰

各種目とも、競技終了後閉会式において行う。

9. 注意事項

- ① 試合は、21 点の 2 ゲーム先取の 3 ゲームとする。(ラリーポイント制)
- ② すべてのゲーム中に、一方のサイドが 11 点になったときに 60 秒を超えないインターバルを、第 1 ゲームと第 2 ゲームの間及び第 2 ゲームと第 3 ゲームの間に 120 秒を超えないインターバルを認める。
- ③ 選手はコールを受けた後、5 分以内にコートに入ること。
- ④ 審判員の判定に対して疑問がある場合は該当プレーヤーに限り質問することを認める。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。
- ⑤ タイムテーブルはあくまでも予定時間であり、時間が早まる場合もあるので、場内放送(提示)に特に注意すること。
- ⑥ 審判員の合図について

- (1)「アウト」は両腕を水平に広げて合図する。
- (2)「イン」は右手でそのラインを指す。
- (3)「フォルト」は手を軽く振り、親指を立てて前につきだす。
- (4)「レット」(無効を意味し、やり直し)は、両手を軽く握り、親指を立てて前につきだす。
- (5)「エンドの交代」は、両手を左右に伸ばし、それを前で交差させて示す。

10. 会場について

会場の状況によっては、シャトルが障害物に当たったときの会場ルールを設ける。この場合、大会当日、大会役員・監督・主将に告示する。

第 11 回ソフトバレーボール競技実施要項

1. 競技規則

公益財団法人日本バレーボール協会制定の 2023 年度ソフトバレー競技規則を適用又は準用する。

2. 競技規定

競技は大会開催年度の日本ソフトバレーボール連盟規則を採用する。

3. チーム編成

- ① 1 チーム 4 名以上 10 名以内とする。
- ② 監督・コーチ又はマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿にも登録されていなければ選手として出場できない。

4. 競技方法

- ① コート内の競技者 4 名で男子は 2 名以内とする。なお、コート内に女子だけでも可。但し、50 歳以上の男子は可。
- ② コート：バドミントンコートを使用する。(6.1m×13.4m)
- ③ 試合は 3 セットマッチとし、2 セット先取したチームを勝者とする。
- ④ ラリーポイント制（1 セット 15 点制、ただし、14 対 14 の場合、2 点差がつくまで続行するが、17 点先取したチームを勝者とする。）
※基本的には 6 人制のルールに準ずるが、以下のプレーは反則となる。
ブロックでのオーバーネット、サービスのネット・イン
- ⑤ 予選リーグ、決勝トーナメント、3 位決定戦とする。

5. 試合球

公益財団法人日本バレーボール協会制定の(株)ミカサ製ボールを使用する。

6. 組み合わせ

組み合わせは監督・主将会議において、抽選により決定する。

7. 表彰式

表彰式は、決勝戦終了後に行なう。

<注意事項>

- ① 競技者のユニフォームはチームにより統一された色と同じ形のものを着用しなければならない。
- ② 競技者のユニフォームには、胸部と背後の中央に 1 から 99 までの番号をつけなければならない。
- ③ キャプテンは、ユニフォームと異なった色で、胸部の番号の下に、長さ 8 cm、幅 2 cm のマークをつける。

第1回グラウンド・ゴルフ競技実施要項

1. 競技種目

グラウンド・ゴルフ競技とする。

2. 競技規定

公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会グラウンド・ゴルフ ルールブック競技規則により実施する。

3. 参加資格

- ① 競技実施要項規定によるものとする。
- ② 参加チームは県単位とする。チーム制限はない。

4. ゲーム

- ① 1パーティ（グループ）は6名とする。
- ② 1パーティ（グループ）分け、打順の決定は実行委員会がする。
- ③ 1パーティは、所定のボールを決められた打順にしたがってスタートマットから打ち始め、ホールポスト内に静止した状態「トマリ」までの打数を数えるものである。

5. 用具について

ホールポスト、スタートマットは定められたものとし、実行委員会が用意する。
ただし、クラブ、ボールは選手各自で持参すること。

6. 審判について

- ① 審判はプレーヤー自身が行なう。
- ② 判定が困難な場合には、同伴のプレーヤーに同意を求める。

7. コース

標準コースとし、50m、30m、25m、15m 各2ホールの合計8ホールで構成する。

8. 表彰

- ① 表彰は、競技終了後、閉会式において行う。
- ② 表彰は、優勝・準優勝・3位とする。

注意事項

- ① コースへ出る選手は、指輪、ネックレス、ヘアピン等、危険と思われるものは身につけない。
- ② 暴力行為及び主催者や実行委員に対する暴言等、マナー、モラルを遵守できない場合、大会本部で協議の上、処理する。
- ③ 選手は健康保険証を携帯すること。

申込みについての協力のお願い

申込みについて、次の事項に留意下さい。

1. 申込みの方法

- (1) それぞれの申し込みは、案内書にある参加申込書（個人用）に必要事項（希望されるもの）を記入し費用を添えて、3月31日（金）までに所属団体の担当者に申し込んでください。

ゲートボール競技参加者で宿泊を申し込まれる方は、参加申込（個人用）に記入し費用を添えてください。

- (2) 各団体の担当者は、別紙の「集計申込書」に記入して、4月6日（木）までに福岡県の実行委員会事務局に申し込んでください。

※登録にかかる競技参加申込書は、九州聴覚障害者団体連合会体育部長に送付してください。

※参加申込書（個人用）は、「集計申込書」と一緒に実行委員会に送付してください。

2. 宿泊について

- (1) 宿泊のホテルは、ゲートボール競技のみP16にて案内しておりますので、案内書にある参加申込書（個人）により申し込みください。

- (2) ゲートボール競技以外の競技に参加する選手・役員・応援者の宿泊については手配しませんので、各自で手配をお願いします。

3. 競技会場までの送迎バスについて

4月下旬ごろに詳細が決まりましたら、ご案内させていただきます。

4. 競技参加等の送金について

競技参加料、弁当代、ゲートボール選手の宿泊費等は、下記の口座に振り込んでください。

5. 弁当について

選手・役員のみ弁当を受け付けますが、応援者については、応援競技が不明で本人にお届けできない場合がありますので、各自でご用意ください。

送金先について（振込口座）

金融機関名・口座番号	福岡銀行 戸畑支店 ・ 普通 2309802
名 義 人	第60回全九州ろうあ者スポーツ大会実行委員会 委員長 大澤 五恵
住所・連絡先	〒806-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 特定非営利活動法人北九州市聴覚障害者協会気付 第60回全九州ろうあ者スポーツ大会事務局

ゲートボール競技参加者の宿泊についてのご案内

ゲートボール競技にご参加の皆さまの宿泊は、下記のとおりです。

申込みについて

(1) 宿泊の申込み・お問合せ

申込み・お問合せ	〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた 7 階 特定非営利活動法人北九州市聴覚障害者協会 FAX (093) 881-0114 TEL (093) 647-0870
----------	---

(2) 個人申込み期限

2023 年 3 月 31 日（金）までに、別紙の参加申込書（個人用）に希望を記入し、宿泊費を添えて所属協会へお申込みください。

ツイン・トリプルを準備しています。同室希望者名を記入してください。

部屋数によりご希望に添えない場合がございます。ご了承くださいますようお願いいたします。

(3) 実行委員会へのお申込み

所属協会は、別紙の総括申込書に必要な事項を記入の上、4 月 6 日（木）までに申込先へ郵送していただき、参加料・宿泊費を指定口座へお振込みください。

(4) 宿泊チケットについて

ご予約いただきました宿泊チケットを所属協会へ発送いたします。

届きましたらご確認の上、当日忘れないようご持参ください。

(5) 変更・取消について

変更・取消は、必ず所属協会を通してください。

取消に伴う手数料は下記のとおりです。

取消日	21 日以前	20 日前～ 8 日前	7 日前～ 2 日前	旅行開始 前日	旅行開始 当日	旅行開始後の 当日の連絡
取消手数料	無料	20%	30%	40%	50%	100%

(6) 宿泊先

宿 泊 日：2023 年 5 月 20 日（土）

宿泊ホテルおよび料金

■西鉄イン黒崎=1 泊朝食付 お一人 6,500 円～7,000 円（税込）

■アルクイン黒崎=1 泊朝食付 お一人 7,000 円～8,000 円（税込）

■コンフォートホテル黒崎=1 泊朝食付 お一人 5,700 円～7,000 円（税込）

(7) その他

- ・ 上記宿泊ホテルについては、3 月中旬に決定します（新型コロナウイルス感染症関連）。宿泊できない場合は別途ご案内いたしますので、ご了承ください。決定後、連絡いたします。

九州聴覚障害者団体連合会主催の行事中止に関する基準

1. 主催の行事内容は、全九州ろうあ者大会、全九州ろうあ者スポーツ大会、九州ブロック幹部研修会、専門部の研修会（青年・女性・高齢部）、理事会、評議員会、各専門委員会（役員会・代議員会を含む）である。
2. 行事中止の基準は、天候地変（地震・津波など）、気象条件（台風・豪雨など）によって開催実施の決定か中止かの事項は主催者において下記のとおり、決定する。
 - 1) 全九州ろうあ者大会、全九州ろうあ者スポーツ大会の場合は、前々日、前日、当日の実行委員会の受け入れ態勢が整わないとき、主催者は実行委員会と確認のうえ、中止決定とする。
なお、中止による順延は行わないし、全国ろうあ者体育大会の予選による代表選定については体育部委員会において協議する。
 - 2) 九州ブロック幹部研修会、各専門部の研修会、各専門部委員会の場合は、前々日、前日、当日の開催地の加盟団体の受け入れ態勢が整わないとき、主催者（各部長）は開催地の加盟団体と確認のうえ、中止決定とする。
なお、中止による順延については各部の協議で決定する。
ただし、各専門部委員会は会場を変更する場合もある。
 - 3) 理事会、評議員会の場合は、前々日、前日、当日の開催地の加盟団体の受け入れ態勢が整わないとき、主催者（常任理事以上）は開催地の加盟団体と確認のうえ、中止決定とする。
なお、中止による順延については、主催者の協議で決定する。
ただし、理事会の会場を変更する場合もある。
3. 中止による大会などの大会参加料、団体参加料、登録料の返金については、基本的に参加申込締切日以降、理由の如何に関わらず返金しないとする。
ただし、研修分科会参加費、宿泊、弁当料などは、必要な経費、キャンセル料などを引いて返却する。

制定 2020年4月1日
九州聴覚障害者団体連合会

第 60 回全九州ろうあ者スポーツ大会 in ふくおか実行委員会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6

ウェルとばた 7 階

特定非営利活動法人北九州市聴覚障害者協会

FAX 093-881-0114 TEL 093-647-0807

E-mail:kitarou@kad.or.jp